

鶴沼市民センター・公民会建て替えについての意見交換会 議事録(要約)

日時:2024年9月14日(土) 14:00~16:00

場所:鶴沼市民センター 第3談話室

出席者数:15名

【司会】

「では、皆さんからのご意見やご質問をお伺いします。」

【Hさん】

「まず基本的な質問ですが、津波ハザードマップは、過去の地震で地盤が隆起したことを考慮しているのでしょうか？例えば、関東大震災や南海トラフ地震で、地盤が1mぐらい隆起しているデータがあります。それを踏まえたマップになっているのか気になります。」

【鶴沼市民センター】

「国の地形データや地震のデータは当然考慮されています。このマップは、国土地理院の最新データをもとに科学的に分析されたものです。過去の津波のデータも含めて、県が発表していますので、地形や地震の影響も含まれています。」

【Hさん】

「いや、隆起は反映されてないでしょ。今までのデータだと、地震のたびに隆起しているわけです。例えば、能登の地震でも津波が予想より小さかったのは隆起があったからです。だから、これからの地震でも隆起を考慮しないと、津波の到達範囲が変わるはずですよ。」

【鶴沼市民センター】

「いや、地形や現状を基にしたマップです。最大想定の高さを示していて、それがベースですよ。」

【Hさん】

「でも、隆起を考慮しないと現実的な高さが変わってきますよ。例えば、3mの津波が予想されているところに、隆起が1m加われば、実際には2mになるわけです。それによって建物の構造も変わります。」

【鶴沼市民センター】

「最大の想定を基にしているので、そこを下回る可能性はむしろプラスだと思いますが。」

【Hさん】

「いや、それでは建物の構造が大きく変わると思います。2mの津波と3mの津波では、たとえば2階が水没するかどうかが大きく違う。そうすると、建物に求められる強度も変わります。」

【Lさん】

「Hさん、これは最大のリスクを想定しているハザードマップだから、それで良いんじゃないですか？」

【Hさん】

「でも、現実的にはもっと低いかもしれないってことです。」

【鶴沼市民センター】

「でも、それならば尚更安心じゃないですか。」

【Hさん】

「いや、だからそうすると、避難経路や建物の強度が全然変わってきます。」

【鶴沼市民センター】

「おっしゃりたいことはわかったんで、とりあえずご意見ということで、他の方のお話もお伺いしましょう。」

【司会】

「はい、次の質問に移りましょう。」

【Lさん】

「複合施設の計画についてですが、市民センターの利用者数はどのくらい増える見込みですか？」

【鶴沼市民センター】

「現時点で正確な人数は把握していませんが、時間帯にもよるでしょうけど、なぎさ荘や子どもの家加わることで利用者は増えると思います。あと、今考えてるのが貸室として使うだけじゃなく、新たな施設にはいわゆる多目的に使えるスペース的なもの、例えばカフェとか、学生さん向けの学習なスペースとか、そういったものも作っていきたいと思ってますので、利用者は確実に増えるだろうと思っています。」

【Lさん】

「今が20万人ぐらいだとして、それが25万なのか、30万、40万でだいぶ変わってくると思います。具体的に何万人増えるかで、影響は大きいと思いますが、その点はどうですか？」

【鶴沼市民センター】

「そこまでの大幅な増加はないと考えていますが、数字については今後詰めていく予定です。」

【司会】

「はい、次の方どうぞ。」

【Sさん】

「鶴沼子どもの家が市民センターに移る件についてお伺いします。現行の施設は高学年の子どもたちも利用していますが、新しい施設は小さな子ども向けになるのではないかと心配しています。高学年の子どもたちが自由に遊べるような場所が必要です。」

【鶴沼市民センター】

「我々としても、ここに複合化するのであれば、できる限り子供たちが生き生きと使えるような施設にしたいというのもあるけれども、近隣の環境の問題とか、法律上クリアしなきゃいけない規制などもあるし、すべての機能を新しい施設に持ってくるのは難しいかもしれません。ただ、防災広場イベントのような広場的な空間を作りたいと思ってると、体育室もできる。体育室の場合は貸室なので、ずっと使うことはできないけれど、開いてるときとか、何か行事するのであれば優先的に確保するとか、そういう形で子供たちの活動場所を何とか作っていけるようなプランも考えていきたいとは思っています。」

【Sさん】

「ミニバスなどをやっている子どもたちが、気軽に利用できる場所が欲しいです。ボール遊びができる場所や広場があれば嬉しいです。」

【鶴沼市民センター】

「そのような遊び場の確保は課題ですね。でも本当そうですね。子供の遊び場ないですね。我々子供の頃はそこら辺の空き地で野球やったりサッカーやったりってあったんですけど。ちょっとここで実現するのはちょっとなかなか難しいんですけど、でもなんかちょっと気に留めておきます。」

【司会】

「他にご意見のある方、どうぞ。」

【Yさん】

「なぎさ荘の体育施設をよく利用していますが、複合化された後の施設にどのくらい機能が引き継がれるのか教えてください。」

【鶴沼市民センター】

「お風呂と運動浴槽は新施設に移りません。ただ、サークル活動や健康講座などはできるだけ継続できるように考えています。」

【Hさん】

「なぎさ荘がなくなるのは困ります。避難場所として重要です。」

【鶴沼市民センター】

「その点に関しては、防災部門が、津波避難ビル含めて、どういう形で対応するかっていうのを、正式に複合化が決まった段階でその時点で決めると思います。」

【司会】

「はい、他にご質問やご意見はありますか？」

【Hさん】

「新しい施設は RC(鉄筋コンクリート造)ですか？」

【鶴沼市民センター】

「はい、今のところ RC で計画しています。」

【Hさん】

「それにはかなり費用がかかりますよね？」

【鶴沼市民センター】

「そうですね、現状では RC 建築の単価が高くなっており、予算内で建てるのは難しいかもしれません。」

【Hさん】

「もし津波が来る高さが低ければ、RC にする必要はないのでは？」

【鶴沼市民センター】

「その点も検討課題ですが、指定緊急避難場所としての基準を満たすためには RC が必要です。」

【司会】

「本日の意見交換会はこれで終了です。皆さん、ご参加ありがとうございました。」